

第5学年 国語科学習指導案

1. 単元 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」

2. 単元の展開にあたって

(1) 教材のよさ

本教材は、相手の身になって尽くす思いやりを大切にしてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方とその生き方に感動して変容するマサエの姿を通して、人として大切な考え方や生き方について見つめさせることのできる作品である。

文章構造・表現上の特質としては、次の6点が挙げられる。

- ・ 一行空きによって「現在－過去－現在」の3つの場面からなり、おばあちゃんの昔語りを前後のマサエの姿で包みこんでいる文章構成には、昔語りの心を過去のものとするのではなく、祖母の世代から孫の世代へと伝え、受け継いでほしいという書き手の願いが込められている。
- ・ 主人公のマサエを読み手である5年生と同年代の子どもとして、また昔語りの聞き手として登場させている人物設定には、読み手である子どもたちにマサエに寄り添って読み進めてほしいという書き手の願いが込められている。
- ・ 昔語りの中のおみつさんと大工さんが実はマサエの祖父母であったことを第3場面で種明かしするいう手法には、マサエの感動を読み手自身の感動として受けとめてほしいという書き手の願いが込められている。
- ・ 一行空きの後の現在の場面で、大工さんのことばをそっくりそのままおばあちゃんのことばとして語らせるという手法によって、数十年にわたっておばあちゃんのことばを大切にしながらおじいちゃんとともに生きてきた姿を思い描けるようになっている。
- ・ 繰り返しによる強調表現、文末表現の工夫、類縁語の使い分けなど、巧みに叙述が書き表されているため、ことばに立ち止まって自分の読みをつくっていくのに適している。
- ・ マサエとおばあちゃんとのやりとり、おみつさんと大工さんとのやりとりが生き生きとした会話文で書き表されているため、音読を通して人物の気持ちに迫っていくのに適している。

本単元では、以上のような特質を踏まえ、主人公のマサエに寄り添いながら、マサエの感動を読み手自身の感動として受けとめる読みを展開していきたい。その中で、互いの読みを伝え合いながら、書き手の願いを受けとめ、人として大切な考え方や生き方について見つめることができるようにしていきたい。

(2) 学年の子どもの実態

本学年の子どもたちは、5年生での「新しい友達」「サクラソウとトラマルハナバチ」「千年の釘にいどむ」の学習を通して、読みのめあてにそって文章を読み進めていく学習をしてきている。物語文の学習に関しては、「新しい友達」の読みの学習を通して、読みのめあてにそって、人物の思いや見方・考え方を読み取っていく学習をしてきている。

これらの学習を通して、子どもたちは、根拠とする叙述をはっきりさせて読み取ることができるようになってきている。しかし、その叙述からどのように考えたのかという解釈をしながら読み取することは、十分にはできていない。また、読む能力や書く能力における個人差が大きく、根拠とする叙述をはっきりさせることができなかつたり、何をどう書いたらいいのかが分からなかつたりして、自分の読みをつくることのできない子どもの姿も見られる。

交流においては、書き込みをもとに自分の読みを発表することができるようになってきている。しかし、互いの読みの重なりや違い、よさを聞き取り、読みを深めるまでには至っていない。

音読に関しては、語や文のまとまりを考え、はっきりした声ですらすらと音読できるようになってきている。また、人物の気持ちや場面の様子を考えながら音読しようとする意識も芽生えてきている。しかし、実際に、人物の気持ちや場面の様子が表れるように音読できるまでには至っていない。

(3) 学習内容と指導・支援の考え方

指導にあたっては、まず、単元名から、人物の考え方や生き方を読み取ることを通して自分の考え方や生き方を見つめるという学習の構えをつくる。その上で、題名と冒頭をつないで読み、

マサエとおばあちゃんの見方・考え方の対立を、会話文の役割音読を通して読み取らせる。その上で、そんなマサエに対してまじめな顔になって話をしてやろうとするおばあちゃんの姿に着目させることによって、おばあちゃんの思いとマサエの変容を追求する読みのめあてを生み出す。

読みのめあてに対する答えの段階では、まず、家庭学習とも連携させながら全文をしっかりと音読させる。その際、一人一人の音読を評価し、補助簿に記録する。ここで、支援が必要な子どもに対しては、次のような手だてをとる。

- ・ 読めない漢字にふりがなをうったり、語のまとまりに色鉛筆で線を引いたりさせる。
- ・ ペアやグループで音読練習する機会を設け、互いに教え合わせる。
- ・ 授業時間や休み時間に、日本語教室担当による個別指導を行う。

音読練習と並行して、一行空きの「現在－過去－現在」という文章構成と展開をとらえさせる。そして、マサエに伝えたいものについては、繰り返し出てくる「神様」ということばを手がかりに、マサエの変容については、話を聞く前と後のマサエの言動の違いを手がかりに、答えとして書きまとめさせる。その話し合いでは、マサエに伝えたいものについては「相手の身になって尽くす思いやり」という読みを中心に、マサエの変容については「祖父母の生き方に感動した」という読みを中心にしながら方向づける。しかし、解決できない答えのちがいや曖昧さについては、整理して残しておき、読み確かめる必要感をもてるようにする

学習計画の段階では、マサエに伝えたいものについては、「神様」につながる心や考え方と、それを大切に生きてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方を読み確かめる計画を立てる。マサエの変容については、マサエの言動から、「神様」の受けとめ方や祖父母に対する見方の変容を確かめる計画を立てる。

読み確かめの段階では、「現在－過去－現在」という文章構成の意図を考えながら、繰り返しによる強調表現や文末表現にも着目して、おばあちゃんの思いとマサエの変容を読み確かめていく。ここでは、読みを深めるために、おみつさんと大工さんとのやりとり（会話文）を音読で表現させたり、話を聞く前と後のマサエの会話文を音読で比べさせたりする。

読み・読み方のまとめのまとめの段階では、おばあちゃんが伝えようとしたものをもとに、題名の「神様」の意味を考えさせるとともに、文章構成や人物設定における書き手の意図について考えさせる。その上で、作品の中に描き出されている考え方や生き方をどう受けとめたのか、書きまとめ、伝え合うことによって、人として大切な考え方や生き方について見つめさせたい。さらに、音読発表会を開き、グループで音読の仕方を工夫させることによって、自分の読みを表現させたい。最後に、学習の足跡を残した掲示物を使いながら、ことばや文章の読み方を振り返り、まとめる。そのことによって、この単元で学んだ読み方を次の単元でも使えるようにする。

3. 単元の目標

- 「現在－過去－現在」という文章構成の意図を考えながら、相手の身になって尽くす思いやりを大切に生きてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方とその生き方に感動して変容するマサエの姿を読み取り、人として大切な考え方や生き方について見つめることができる。
- ◎ 会話文に込められた人物の気持ちや場面の様子を考えながら、おみつさんと大工さんとの心の交流や、話を聞く前と後のマサエの変容が分かるように音読することができる。

4. 学習計画（全12時間）

| 段階 | 時間 | 主な学習活動と内容 | 指導上の留意点 |
|-----------|----|--|---|
| 読みのめあて | 12 | <p>1 単元名について話し合う</p> <p>2 題名について話し合い、主題の方向を予測する。</p> <p>3 おばあちゃんとマサエの見方・考え方の違いを読み取る。</p> <p>4 単元名、題名、冒頭の読みをつないで、読みのめあてを生み出す。</p> <div data-bbox="290 1451 1417 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読みのめあて</p> <p>おばあちゃんは、「わらぐつの中に神様のいなくなった話」で、マサエに何を伝えたいのだろう。</p> <p>この話を聞いて、マサエは、どう変わるのだろう。</p> </div> | <p>○ 既習学習や読書経験とつなぎながら、「考え方」と「生き方」の違いを理解させるとともに、この単元では人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分の考え方や生き方について見つめるという学習の構えをつくるようにする。</p> <p>○ 単元名からつくった学習の構えをもとに題名を読み、「神様」が人として大切な考え方や生き方につながるのではないかとすることを予測できるようにする。</p> <p>○ 作品の時、所、人物をとらえ、おばあちゃんが話をするきっかけとなったマサエの性格やものの見方・考え方を読み取らせる。</p> <p>○ マサエとおばあちゃんの見方・考え方の対立に気づかせるために、マサエとおばあちゃんのやりとり（会話文）を役割音読させる。</p> <p>○ マサエの言動やものの見方・考え方の中に自分との共通点を見つけて、マサエに寄り添わせることによって、子どもの問題意識にゆさぶりをかける。</p> <p>○ おばあちゃんが、まじめな顔になって、「神様のいなくなった」「話をしてやる」ことの意味を考えさせ、おばあちゃんの思いとマサエの変容について問題意識をもてるようにする。</p> |
| 読みのめあての答え | 34 | <p>1 教師の範読を聞く。</p> <p>2 音読の練習をする。</p> | <p>○ 難語句については補説する。</p> <p>○ すらすら音読できるようにするために、家庭学習や朝の時間でも繰り返し練習するように指導する。</p> <p>○ 一人一人の音読を評価し、補助簿に記録する。支援が必要な子どもに対しては、読めない漢字にふりがなをうったり、語のまとまりに色鉛筆で線を引いたりさせる。</p> |

| | | |
|---------------------------|--|---|
| | <p>3 文章構成と展開をとらえる。</p> <p>4 根拠をはっきりさせて、自分の答えを書きまとめる。</p> <p>○ おばあちゃんがマサエに伝えたいものは何なのか</p> <p>○ マサエはどう変容しているのか</p> | <p>○ 必要に応じて、ペアやグループで音読練習する機会を設けたり、日本語教室担当に指導してもらったりする。</p> <p>○ 一行空きの「現在－過去－現在」の文章構成をとらえさせ、一行空きの後、おばあちゃんが大工さんのことばをそっくりそのまま語っていることに着目させる。</p> <p>○ マサエに伝えたいものについては、繰り返し出てくる「神様」ということばを手がかりに、マサエの変容については、話を聞く前と後のマサエの言動の違いを手がかりにさせる。</p> |
| <p>学習計画</p> <p>5 / 12</p> | <p>1 読みのめあてに対する答えを話し合い、重なりや違いを明確にして、答えを方向づける。</p> <p>2 全文を読み返して、読み確かめるための中心文を探し、発表する。</p> | <p>読みのめあてに対する答えを話し合っ、読み確かめる計画を立てよう。</p> <p>○ 一人一人の読みを把握した上で意図的な指名を取り入れる。</p> <p>○ おばあちゃんの伝えたいものについては、「相手の身になって尽くす思いやり」という読みを中心に、マサエの変容については、「祖父母の生き方に感動した」という読みを中心にしながら方向づけるが、解決できない答えのちがいや曖昧さについては、整理して残しておく。</p> <p>— 答えの方向 —</p> <p>○ おばあちゃんは、マサエに、「大切なのは、見かけではなく、相手の身になって精いっぱいのことをする思いやりだ。そういう思いやりを大切に生きてきた自分たちは幸せだ。」ということ伝えたい。 (神様につながる大切な心や考え方＋自分たちの生き方)</p> <p>○ マサエは、相手の身になって精いっぱいのことをする思いやりの大切さに気づくとともに、おばあちゃんとおじいちゃんの生き方に感動して、すばらしい人たちだと思ふようになった。 (神様の受け止め方の変容＋祖父母に対する見方の変容)</p> <p>○ 解決できない答えのちがいや曖昧さをもとに、どの叙述をもとに読み確かめるのかを明らかにし、学習計画表として掲示する。</p> <p>○ おばあちゃんの伝えたいものについて、おみつさんがわらぐつを編む姿と大工さんのことば、おばあちゃんの姿から読み確かめる。 ・ 「神様」につながる大切な心や考え方 (読み確かめ①) ・ それを大切に生きてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方 (読み確かめ②)</p> <p>○ マサエはどう変容したのかについて、マサエの具体的な言動から読み確かめる。 ・ 「神様」の受けとめ方、おばあちゃんとおじいちゃんへの見方 (読み確かめ③)</p> |
| <p>読み確認</p> <p>6 / 7</p> | <p>おみつさんがわらぐつを編む姿と大工さんのことばから、「神様」につながる心や考え方を読み確かめよう。</p> | |

か
め
12
(
読
み
確
か
め
①
)

- 1 本時学習のめあてを確認する。
- 2 おみつさんと大工さんやりとり（会話文）を音読する。
- 3 読み取りプリントに書き込みをする。

- 学習計画表をもとに、読み確かめる中心文を確認する。
- 二人の言ったことを確かめるために、二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。
- 書き込みの前に、何について、どこに目を付けて、どう書けばいいのかを確認する。

☆ 二人に共通している「神様」につながる心や考え方は？

- ・ はく人のことだけを考えているおみつさんの心は？
 - * 「～ように」の繰り返し
 - * 人柄とつないで
 - * ほしい気持ちと対比して
- ・ 仕事に対する大工さんの考え方は？
 - * わらぐつを編んでいるおみつさんの姿とつないで
 - * 文末表現に着目して

- 4 書き込みをもとに、話し合う。
- 5 話し合った内容を生かして音読する。

- 一人一人の読みを把握した上で意図的な指名を取り入れる。
- はく人のことだけを考えているおみつさんの心を「～ように」の繰り返しやおみつさんの人柄とつないで読み取らせる。
- 大工さんのことばをわらぐつを編んでいるおみつさんの心と結び、仕事に対する考え方を読み取らせる。
- おみつさんと大工さんとの心の交流を読み深めるために、二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。
- おみつさんと大工さんとの心の交流を確かめるために、二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。

8
/
12
(
読
み
確
か
め
②
)

大工さんのことばをそっくりそのまま語っているおばあちゃんの姿と、おばあちゃんにとっての雪げたの意味から、「とっても幸せ」と言っているおばあちゃんの生き方を読み確かめよう。

- 1 本時学習のめあてを確認する。
- 2 おばあちゃんのことば（会話文）を音読する。
- 3 読み取りプリントに書き込みをする。

- 学習計画表をもとに、読み確かめる中心文を確認する。
- 音読をきっかけに、一行空きの後に大工さんのことばをそっくりそのままおばあちゃんのことばとして語らせている意味を考えさせる。
- 書き込みの前に、何について、どこに目を付けて、どう書けばいいのかを確認する。

(昔語り) (現在)
(一行空き) 40～50年

☆ 二人はどうくらししてきたのか？（二人の生き方）

- ・ 現在の場面で、大工さんのことばをおばあちゃんのことばとしてそのまま語らせていることの意味は？
- ・ 「とっても幸せにくらしてる」の「とっても幸せ」とは？
 - * 昔語りの中の二人の姿，心とつないで
 - * 雪げたに込められた心とつないで

4 書き込みをもとに，話し合う。

○ 一人一人の読みを把握した上で意図的な指名を取り入れる。

○ 「とっても幸せ」の意味を雪げたに込められている心や昔語りの中の二人の生き方とつないで考えさせ，おばあちゃんとおじいちゃんが相手のために尽くす思いやりを大切に，支え合い，励まし合っ生きてきた姿を思い描かせる。

5 話し合った内容を生かして音読する。

○ おばあちゃんの思いを確かめるために，おばあちゃんのことば（会話文）を音読する。

9
10
／
12

「…この雪げたの中にも，神様がいるかもしれないね。」と言うマサエのことばを中心に，マサエがどう変わったのか読み確かめよう。

（読み確かめ③）

1 本時学習のめあてを確認する。

○ 学習計画表をもとに，読み確かめる中心文を確認する。その際，読み確かめ①②で明らかになったこととつないで考えると，読みがより確かになることに気づかせる。

2 マサエとおばあちゃんのやりとり（会話文）を音読する。

○ 冒頭での二人のやりとりとの違いを明確にするために，二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。

3 読み取りプリントに書き込みをする。

○ 書き込みの前に，何について，どこに目を付けて，どう書けばいいのかを確認する。

本時

「ふうん。だけど，
☆ 話を聞く前の言い方と比べて，どう変わっているか
おじいちゃんがおばあちゃんのためにせっせと働いて買ってくれたんだから，
☆ 見たわけでも聞いたわけでもないのに，どうしてこう言えたのか
この雪げたの中にも，神様がいるかもしれないね。」
☆（おばあちゃんは「わらぐつの中に神様のいなくなった話」しかしていないのに，）
どうしておばあちゃんに対してこんなことを言ったのか
…マサエは，赤いつま皮の雪げたをかかえたまま
「おかえんなさあい。」
とさげんで，げんかんへ飛び出していました。
☆ 玄関に飛び出していったマサエがおじいちゃんにどんなことを話すと思うか

4 書き込みをもとに，話し合う。

○ 一人一人の読みを把握した上で意図的な指名を取り入れる。

○ 「かもしれないね」の解釈のちがいを生かし，音読を取り入れながら，マサエ

| | | |
|--|---|--|
| | <p>5 話し合った内容を生かして音読する。</p> | <p>のおばあちゃんへのいたわりの気持ちに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「かかえたまま」ということばから、マサエがおばあちゃんとおじいちゃんの本心までかかえていることに気づかせる。 ○ 話を聞く前と後のマサエの変容を読み深めるために、話を聞く前と後のマサエの会話文を音読で比べさせる。 ○ マサエの変容を確かめるために、冒頭での二人のやりとりとの違いを意識しながら、二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。 |
| <p>読 み の ま と め ・ 読 み 方 の ま と め</p> | <p>11 12 ／ 12</p> <p>学習を振り返って、読みのまとめをしよう。</p> <p>1 おばあちゃんが伝えようとしたものをもとに、題名の「神様」の意味を考える。</p> <p>2 文章構成や人物設定における書き手の意図について話し合う。</p> <p>3 作品の中に描き出されている考え方や生き方をもとに、感想を書きまとめる。</p> <p>4 音読発表会を行う。</p> <p>5 学習を振り返り、ことばや文章の読み方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章構成を読む ○ 一行空きを読む ○ 人物設定を読む ○ ことばをつないで読む ○ 似ていることばと比べて読む ○ 繰り返しを読む ○ 文末表現を読む | <p>○ 読み確かめてきたことを振り返り、「相手の身になって尽くす思いやり」「幸せ」と「神様」のつながりをまとめる。</p> <p>○ 「現在－過去－現在」の文章構成の意図、祖母、母、子という三代にわたって女性を登場させていることの意図、種明かしの手法の意図などについて、教師の考えを語って聞かせながら、子どもに考えさせたい。</p> <p>○ 作品の中に描き出されている考え方や生き方をもとに、祖父母など自分の身近な人や自分自身の考え方や生き方について振り返り、見つめることができるようにする。</p> <p>○ 自分の読みを表現できるようにするために、音読の仕方を工夫させながらグループ音読させる。</p> <p>○ 一人一人の音読を評価し、補助簿に記録することによって、次の単元での指導に生かすようにする。</p> <p>○ 学習の足跡を残した掲示物を使いながら、ことばと文章の読み方を振り返り、まとめる。そのことによって、この単元で学んだ読み方を次の単元でも使えるようにする。</p> |

5. 本時 平成21年10月19日 月曜日 第5校時 5年〇組教室

6. 本時の目標

- 文章構成に着目して昔語りを聞く前後のマサエの姿を対比しながら、相手の身になって尽くす思いやりの大切さに気づくとともに祖父母をすばらしい人たちだと思えるようになったマサエの変容を読み確かめることができる。
- ◎ 会話文に込められたマサエの気持ちを考えながら、話を聞く前と後のマサエの変容が分かるように音読することができる。

7. 本時学習を進めるにあたって

- 子どもたちは、読み確かめ①②において、おばあちゃんがマサエに伝えようとした心や考え方、生き方を読み確かめている。本時は、読み確かめ①②を受け、昔語りを聞いたマサエがどう変容したのかについて、前時の書き込みをもとに話し合い、読み確かめる学習である。

本時指導にあたっては、まず、二人のやりとり（会話文）を役割音読させることによって、冒頭での二人のやりとりとの違いを明確にし、マサエの変容を読み確かめる意識を高める。

次に、前時の書き込みの視点に沿って話し合いを展開していく。ここでは、一人一人の読みを把握したカルテをもとに意図的な指名を取り入れながら、それぞれの読みのよさを生かすようにする。その中で、マサエが思いやりの大切さに気づくとともにおばあちゃんに対する見方を変えていることをとらえさせたい。その際、冒頭の「やだあ。わらぐつなんて～」「～神様だって。」「そんなの迷信～」などの会話文と、「ふうん。…神様がいるかもしれないね。」の会話文を音読で比べさせることによって、話を聞く前と後のマサエの変容を十分に確かめさせたい。さらに、「おかえんなさあい。」ということばを冒頭での「この寒いのにー」という描かれ方と対比した上で、玄関に飛び出していったマサエがおじいちゃんにどんなことを話すと思うかを話し合わせることによって、マサエがおじいちゃんへの見方まで変えていることもとらえさせたい。

終末においては、話し合ったことによって自分の読みがどう深まり、確かになったのかを書きまとめ、発表させる。さらに、本時で話し合った内容を生かして、二人のやりとり（会話文）を役割音読させることによって、マサエの変容を確かめる。

板書計画

| | | | | |
|---|-----------------------------------|---|---|--|
| <p>A 相手の身になって尽くす思いやりの大切さがわかるようになった。</p> | <p>B おばあちゃんのことを好きになり、やさしくなった。</p> | <p>C おばあちゃんとおじいちゃんのことをすばらしいと思うようになった。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ふうん。ただ、おじいちゃんやおばあちゃんのためにせつせと働いて買つて、はげました。元気づけたかった。この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。」</p> </div> <p>…マサエは、赤いつま皮の雪げたをかかえたまま</p> <p>「おかえんなさあい。」</p> <p>とさげんで、げんかんへ飛び出していきました。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おじいちゃん、この雪けた、おほえてる。おばあちゃんから話を聞いたよ。おじいちゃんがおばあちゃんのためにせつせと…</p> </div> <p>強く・きつい言い方 ほかになっているような</p> <p>「やだあ。わらぐつなんて、みったくない。」</p> <p>「わらぐつの中に、神様だって。」</p> <p>「そんなの迷信でしょ、おばあちゃん。」</p> <p>(おばあちゃんの昔語り)</p> <p>「～とうとうそれつきりはかざじまいさ。」</p> <p>ぞうなんだ やさしい</p> <p>「ふうん。ただ、おじいちゃんやおばあちゃんのためにせつせと働いて買つて、はげました。元気づけたかった。この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。」</p> <p>おじいちゃんやおばあちゃんから話を聞いたよ。おじいちゃんがおばあちゃんのためにせつせと働いて買つて、はげました。元気づけたかった。この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。</p> | <p>人物の考え方や生き方をとらえよう</p> <p>「わらぐつの中の神様」</p> <p>杉みき子</p> |
|---|-----------------------------------|---|---|--|

8. 本時の展開 (10 / 12)

| 時 | 学習活動と内容 | 指導上の留意点 |
|----|---|--|
| 5 | <p>1 本時学習のめあてを確認し、見通しをつかむ。</p> <p>(1) 本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習のめあて 「…この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。」というマサエのことばを中心にマサエがどう変わったと言えるのか読み確かめよう。 </div> <p>(2) マサエとおばあちゃんのやりとり（会話文）を音読する。</p> <p>(3) 本時学習の進め方を確認する。</p> | <p>○ 学習計画表に ーり、本時学習のめあてを確認する。</p> <p>○ 冒頭での二人のやりとりとの違いを明確にするために、二人のやりとり（会話文）を役割音読させる。</p> <p>○ 前時の書き込みの視点と本時の話し合いの進め方を確認する。</p> |
| 30 | <p>2 前時の書き込みをもとに、マサエの変容について話し合う。</p> <p>(1) 書き込みの視点に沿って話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ふうん。 ★1 話を聞く前の言い方と比べて、どう変わっているか</p> <p style="text-align: center;">* しい言い方へ変わった</p> <p>だけど、</p> <p style="text-align: center;">* 「はかずじまいさ」と言っただけじゃあちゃんを励ますようにおじいちゃんがおばあちゃんのためにせつせと働いて買ってくれたんだから、</p> <p>★2 見たわけでも聞いたわけでもないのに、どうしてこう言えたのか</p> <p style="text-align: center;">* おじいちゃんの考え方や生き方を受けとめ、自分で想 してこの雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。」</p> <p>★3 (おばあちゃんは「わらくつの中に神様のいた話」しかしてないのに、) どうしておばあちゃんに対してこんなことを言ったのか</p> <p style="text-align: center;">* 「神様」の受け止め方の変容 (自分から 働 を見出して)</p> <p style="text-align: center;">* 祖母へのいたわり</p> <p>…マサエは、赤いつま皮の雪げたを <u>かかえたまま</u></p> <p>「おかえんなさあい。」</p> <p>とさげんで、げんかんへ <u>飛び出して</u>いきました。</p> <p>★4 玄関に飛び出していったマサエがおじいちゃんにどんなことを話すとするか</p> <p style="text-align: center;">* 祖父に対する見方の変容</p> </div> <p>(2) マサエの変容を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A 相手の身になって尽くす思いやりの大切さがわかるようになったという読み</p> <p>B おばあちゃんのことを好きになり、やさしくなったという読み</p> <p>C おばあちゃんとおじいちゃんのことをすばらしいと思うようになったという読み</p> </div> | <p>○ 一人一人の読みを把握したカルテをも の話し合いを取り入れたりして、どの子も話し合いに できるようにしていく。</p> <p>○ 話を聞く前と後のマサエの変容を読み深めるために、話を聞く前と後のマサエの会話文を音読で比べさせる。</p> <p>○ 玄関に飛び出していったマサエがおじいちゃんにどんなことを話すとするかについて、マサエが話しているように声に出して発表させる。</p> |
| 10 | <p>3 本時学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) 話し合ったことをもとに、マサエの変容について書きまとめ、発表する。</p> | <p>○ 書を手がかりに、マサエの変容について読みがどう深まったのかを書きまとめることができるように助言する。</p> |